工 事 名 ：可部町上谷宅前農道橋りょう上部工その他工事（８－１）

工事場所：安佐北区可部町大字桐原

積算参考資料

（注）（この資料は、入札参加者の的確な見積りに資するために、発注者が用いた積算資料を参考として提示するもので、請負契約上拘束力を生じるものではなく、誤謬または契約後の条件変化による場合を除き、契約上の変更対象となりません。）

安佐北区農林建設部農林課

積算参考資料

（この資料は、入札参加者の的確な見積りに資するために、発注者が用いた積算資料を参考として提示するもので、請負契約上拘束力を生じるものではなく、誤謬または契約後の条件変化による場合を除き、契約上の変更対象となりません。）

提　示　項　目	提　　示　　事　　項
見積単価	見積単価については、別添「見積単価一覧表」のとおり。 第 SA0010 号特殊代価表　架設工、第 SA0070 号特殊代価表　水抜きパイプ設置工、第 SA００８０号特殊代価表　Ｖカット目地設置工は、見積歩掛を適用している。
支承工	ゴム支承据付に含まれる材料単価について、1 枚（150mm×1,000mm）単価を 1 ㎡に換算し、有効桁 3 桁の単価を採用している。
橋面防水工	橋面防水工について、縦横断導水管及び成形目地材の単価は、5%のロス率を見込み、１円未満切捨てとしている。
仮橋撤去工	覆工板撤去工について、覆工板はリースのため取外し費用のみ見込んでいる。
仮設関係 （工事用道路工）	工事用道路工の数量については、積算参考資料として提示、契約書では一式計上とし、変更の対象としない。 ただし、対象工種の数量の増減や構造変更により数量が変更となる場合はこの限りでない。 ガードレール再設置工の単価は、土木工事標準積算基準書（令和８年８月版）に基づいて積算しており、設置単価から材料費を引いた単価を設置手間としている。 なお、ガードレールはコンクリート建込 Gr-C-2B 塗装とし、加算率は 21m 未満 50%、補正係数は 1.0（補正無）、材料費は 21m 未満のため標準材料費に 30%割増としている。
（足場工）	足場工は、土木工事標準積算基準書（令和８年８月版）に基づいて積算している。 側部足場については、主要部材の基本料α及び賃料βは、合板足場材 0.24m×4m1 枚と足場パイプϕ48.6×1m1 本の合計額としており、合板足場板は建設物価（2026 年８月号）及び積算資料（2026 年８月号）を参考に積算し、足場パイプは広島県土木工事設計資材単価表（令和８年８月）を参考に積算している。 また、月当り賃料は、日当り賃料に 30 を乗じて積算している。 なお、計算過程では１円未満切捨てを行わず、計算で算出したα及びβの金額を１円未満切捨てとしている。 足場工の数量については、積算参考資料として提示、契約書では一式計上とし、変更の対象としない。 ただし、対象工種の数量の増減や構造変更により数量が変更となる場合はこの限りでない。

土工数量関係	作業土工の数量については、積算参考資料として提示、契約書では一式計上とし、変更の対象としない。 ただし、対象工種の数量の増減や構造変更により数量が変更となる場合はこの限りでない。
電算小代価表	特殊代価表は 契約書に綴じこまない。

見　積　単　価　一　覧　表

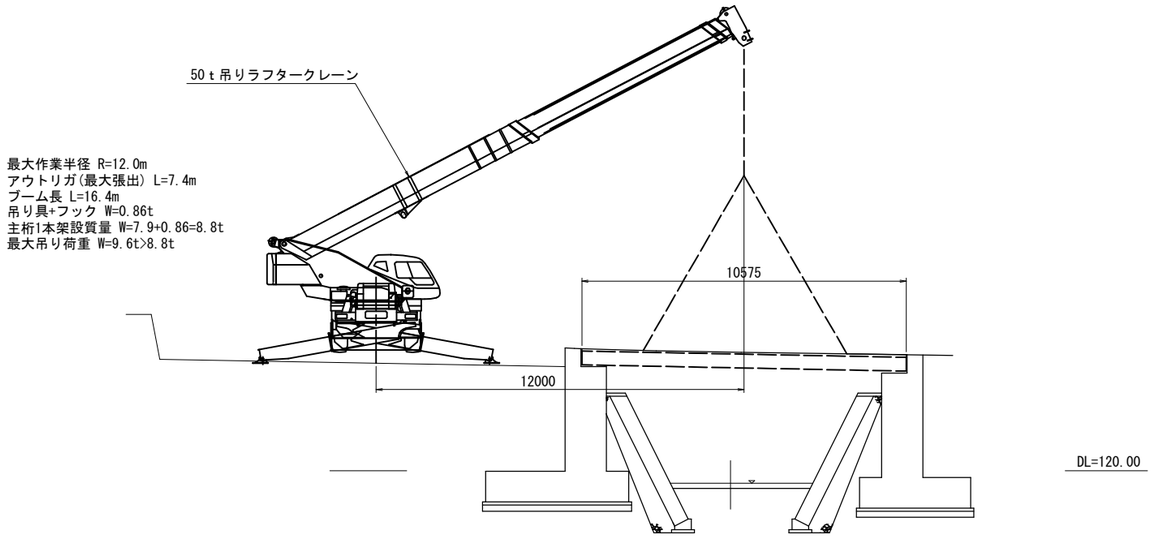
単価コード	名　称	単　位	適用年版	単　価	資源区分	管理費区分	摘　要
TA0001	プレテンションＰＣ桁 L=10.941m,H=450mm,外桁	本	R0808	678,000	材料単価	現場一般の対象	運搬費含む
TA0002	プレテンションＰＣ桁 L=10.941m,H=450mm,中桁	本	R0808	678,000	材料単価	現場一般の対象	運搬費含む
TA0010	排水桝	個	R0808	36,000	材料単価	全間接費の対象	
TA0011	橋梁用ガードレール設置工 Gr-C-2B-4 塗装	m	R0808	5,971	その他施工単価等	全間接費の対象	モルタル・鋼製底付管含む
TA0013	水抜きパイプ VP40 曲げ加工 L=1.1m	本	R0808	18,000	材料単価	全間接費の対象	
TA0018	購入真砂土	m3	R0808	4,630	材料単価	全間接費の対象	運搬費含む

本設計書の施工条件は積算参考のために表示するもので契約書では削除します。

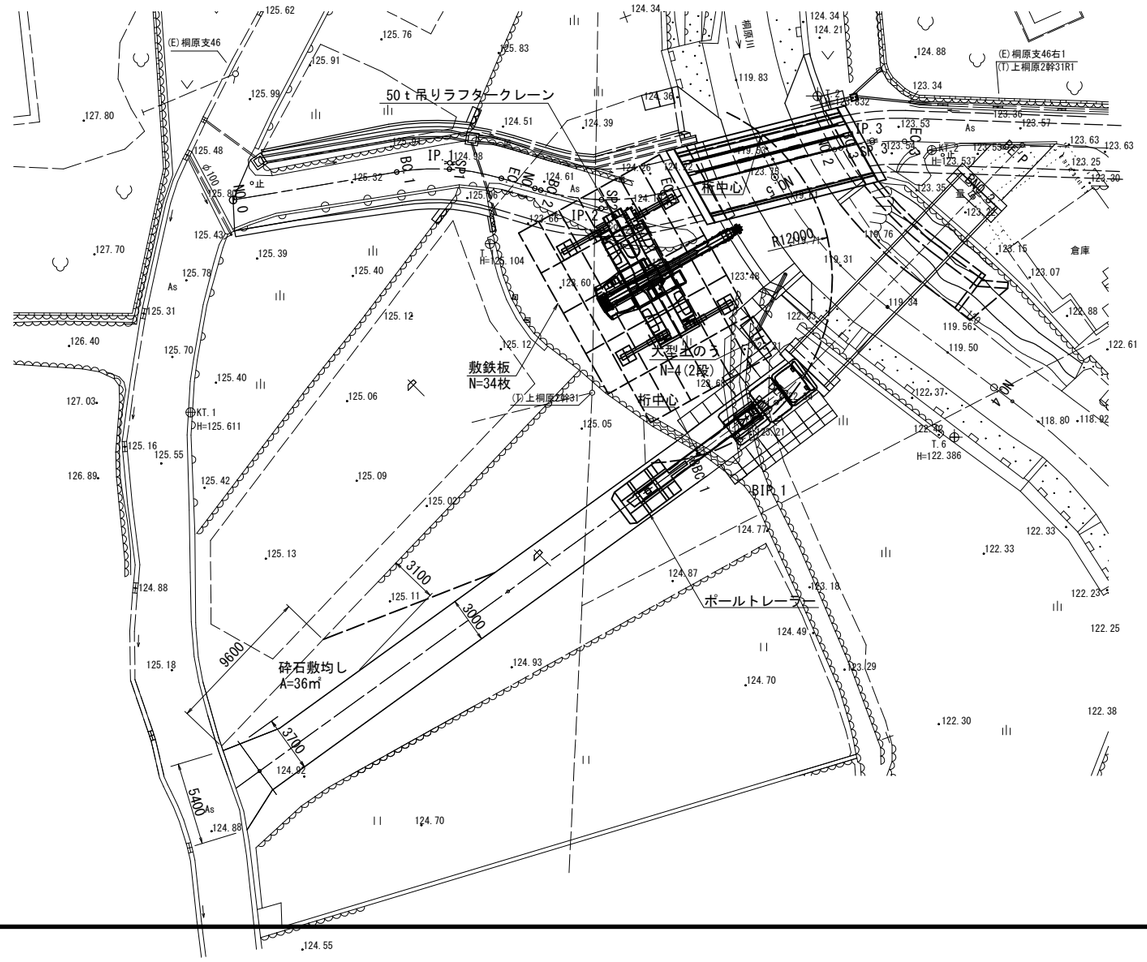
広島市

架設要領図(参考図)

側面図 S=1:100



平面図 S=1:200



能力表 (50t吊りラフタークレーン)(単位:t)

作業半径 (m)	ブーム長さ			
	9.7m	16.4m	23.1m	29.8m
9.0		16.0	13.4	11.5
10.0		13.6	11.9	10.5
11.0		11.3	10.8	9.6
12.0		9.6	9.4	8.8
13.0		8.2	8.0	8.1
14.0			6.9	7.5
16.0			5.2	5.8
18.0			4.0	4.6
20.0			3.2	3.7
22.0				3.0

(アウトリガ最大張出:7.4m)

施工フロー

機材搬入 → 支承工 → 桁架設 → 足場工 → 間詰工 → 横締PC工 → 地覆工 → 橋面工 → 足場等解体処理 → 後片付け

架設要領

1. 50t吊りラフタークレーンをA1橋台背面に進入させ据付ける。(アウトリガ最大張出:7.4m)
2. 工場で製作されたPC桁 L=10.941m(実桁長) Wmax=7.9tをポールトレーラーに積み込み現地A1橋台背面へ搬入する。
3. 50t吊りラフタークレーン1台(最大作業半径 R=12.0m)にて
   PC桁を吊り上げゆっくり旋回して所定の位置に架設する。
4. 3の作業を繰り返し行い全てのPC桁架設を完了する。

※1.架設時には敷鉄板等を設置し、アウトリガ最大張出幅にて堅地盤上に水平にラフタークレーンを設置すること。
※2.電柱、電線が架設の妨げになる場合は、協議すること。

注）電線の位置は、測量による作図でないため注意すること。

可部町上谷宅前農道 橋りょう上部工その他工事（８－１）					
図名	架設要領図(参考図)				
図番	1 葉中 1			縮尺	図示
課長	課長補佐	設計	検算	年 月 日	
				令和 8年 8月	
広島市安佐北区役所農林建設部農林課					